

体温スクリーニングシステム (FeverCheck[®])

1. 製品概要

非接触式で被検温者の体表面温度をリアルタイムに測定し、異常体温者を自動的に検知する装置である(写真1、写真2)。新型コロナウイルス流行中においては、検温時の感染リスクを大幅に低減し、社会活動の継続と流行の抑制に貢献する。検知情報はアラーム音で通知されると共に、データとしてパソコン(PC)に保存される。装置は、光学カメラと赤外線カメラが一体となった双



写真1 測定のようす



写真2 測定 PC の画面

眼カメラ、測定温度校正用のキャリブレーションプレート、そして測定データを表示する PC から構成している(表1、図1)。

特長

- ・ 非接触で体表面温度を測定
- ・ リアルタイム測定し、検知情報を通知
- ・ AIにより顔認識し、対象者として測定
- ・ 複数人を同時に測定可能
- ・ 被検温者ログから事後追跡が可能
- ・ 設置が簡単。機材一式を一つのキャリーバッグに収納し、運搬可能

2. アプリケーション

2.1 異常体温スクリーニング(運用例)

オフィス、工場、ホテル、空港、イベント会場等、お客さまや不特定多数の方の来場場所に設置し、来場者の異常体温スクリーニングが容易に行える(図1)。

表1 FeverCheck[®]仕様

項目	仕様
測定範囲	30~45℃
測定精度	±0.3℃
測定距離	2~3m
動作環境	温度 0~40℃ 湿度 10~90% (屋内)
カメラ寸法	W89 H132 D261 mm
電源	AC 100~240V

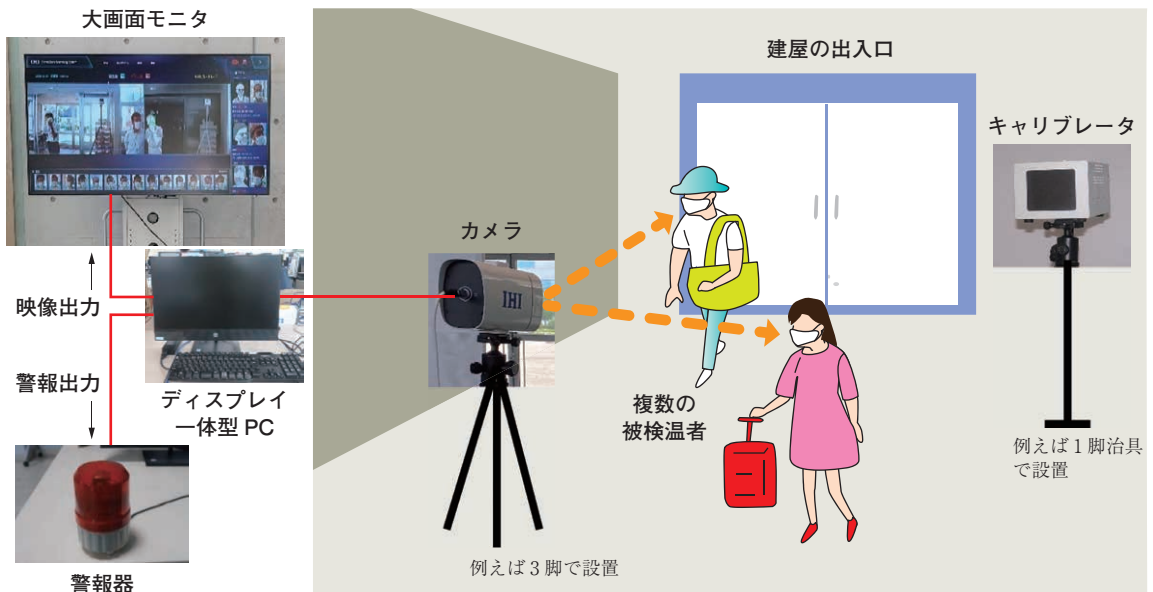


図1 体温スクリーニングシステム例

- ・ 大画面モニタにPCと同じ画面を表示することが可能（外部出力端子：1ポート）
- ・ 警報器の音と光で知らせることが可能（機材オプション）
- ・ 小スペースに設置することが可能
- ・ カメラおよびキャリブレータは吊り下げによる設置も可能



図2 ICカードをタッチして測定データ保存

2.2 ICカード情報^{ひも}と紐づけて測定データ保存 (運用例)

入場時に読み取った個人を識別するIDと紐づけて測定データを保存できる。これにより日々の検温管理ができる（図2、表2）。お客様のニーズに合わせ、ソフトウェアのカスタマイズが可能である。

文責

機器装置事業部 セキュリティシステム部
課長 宇野 充

表2 測定データ（Microsoft Excel ファイル）例

	A	B	C	D
1	日時	従業員コード	体温	判定
2	2021/1/7 8:14	1009	36.2	通常
3	2021/1/7 8:15	1002	35.9	通常
4	2021/1/7 8:15	1008	36.1	通常
5	2021/1/7 8:15	1007	36.2	通常
6	2021/1/7 8:15	1017	35.9	通常
7	2021/1/7 8:15	1027	36.1	通常
8	2021/1/7 8:15	1006	36.4	通常
9	2021/1/7 8:16	1001	36.1	通常
10	2021/1/7 8:16	1005	36.2	通常
11	2021/1/7 8:16	1004	36.1	通常
12	2021/1/7 8:16	1012	36.1	通常
13	2021/1/7 8:16	1011	35.9	通常
14	2021/1/7 8:17	1009	36.1	通常
15	2021/1/7 8:19	1015	36.1	通常
16	2021/1/7 8:19	1016	35.9	通常
17	2021/1/7 8:19	1018	36.1	通常
18	2021/1/7 8:19	1025	36.1	通常
19	2021/1/7 8:19	1019	36.2	通常
20	2021/1/7 8:19	1026	36.3	通常